

助成活動実績報告書

企画名	ふるさと再発見！第3回旭川源流大学 ～旭川まるごと探検隊～
団体名	中学高校環境研究会

①活動の目的について

学生・市民が旭川流域の自然再生と再評価のために活動できるように、2010年から開始した「旭川源流大学」の事業を、これまで協働していた団体・個人が集まって企画運営する実行委員会を2012年1月に立ち上げた。大学生の単位取得が可能な野外教育プログラム作りと、市民がよりよい調査フィールドや観察コンテンツを共有できるような市民大学プログラム作りをめざしている。

②内容について

旭川流域の高島干潟（下流域）から津黒高原（源流域）の調査等を企画、実施した。

- 5月3日～4日 一研修合宿調査 津黒川研修 津黒生き物ふれあいの里・津黒高原荘 参加者40名
- 7月29日（日）「旭川源流大学～旭川まるごと探検隊～高島干潟調査」
参加者；45家族95名（小学生42名）スタッフ30名 計123名
- 8月9日～10日 「旭川源流大学～旭川まるごと探検隊～津黒研修キャンプ」
（蒜山珪藻土工場・津黒生き物ふれあいの里・津黒高原荘・山乗溪谷） 参加者60名
- 9月2日（日）「旭川源流大学～旭川まるごと探検隊～津黒観察会」（珪藻土・津黒生き物ふれあいの里）
参加者；42家族88名スタッフ20名 計108名
- 10月28日（日）「旭川源流大学～宇甘川・大野川生き物調査プロジェクト」（虎倉トンネル付近・大野）
参加者；約50名（地元市民20名、協力市民・学生30名）
- 11月4日（日）「旭川源流大学～竹枝かいぼり調査」アカザ等の淡水魚多様性保護・自然再生を目標
参加者；約300名（地元市民150名、協力市民・学生150名）竹枝小学校前河川敷
- 9月23日～24日 「第5回いい川いい川づくりワークショップ」エントリー参加
東京、国立オリンピック記念青少年総合センター 参加者：4名

等、その他の全国規模のワークショップや専門研究会に参加研修活動をした。

③この活動によって達成された成果

3年前発足した「旭川源流大学」という市民参加型のフィールド調査をメインとした宿泊型環境教育プログラムの開発が地元との共同で進んだ。また、市民参加型の「旭川源流大学」を実施して、そのアンケートから「よかった」「また、参加したい」等の意見を多くいただき、無事終了することができた。

④今後の計画・展望について

今後も、旭川流域の源流～中流～下流・児島湾までにフィールド観察事業を継続するとともに、地元の市民活動グループの調査活動の要望や継続性を大切に、適切な季節に実施できるように企画したい。特に、中流域の支流部や吉備高原の（源流となる）ため池や用水路の水環境、いろいろな小動物（陸水生物）の共生関係についても調査・観察を地元の市民活動と提携することで、市民への情報発信を進めていきたい。

⑤写真等参考資料添付



8 / 9 津黒生き物ふれあいの里



8 / 9 津黒・ささゆり館



8 / 9 津黒川観察



8 / 9 蒜山珪藻土露天掘り現場



8 / 9 津黒・ささゆり館



8 / 10 津黒・山乗溪谷



8 / 10 津黒・山乗溪谷



7 / 29 高島干潟観察



7 / 29 高島干潟観察



11 / 4 竹枝かいぼり調査・竹枝小学校前、全員集合写真



11 / 4 竹枝かいぼり調査・採集・パネル説明・展示水槽風景

